第 76 回 (公社) 全日本鍼灸学会学術大会演題募集要項

一般演題（口演発表、ポスター発表、英語発表）：正会員のみ

学術大会では、一般演題として3つの発表方法を企画しています。

・口演発表：PCによる口頭発表です。

・ポスター発表：ポスター掲示による口頭発表です。

・英語発表：科学の場における共通言語である英語による発表のセッションを企画しました。多くの先生方の議論の場となり、それが世界に通用する日本の鍼灸学の構築に繋がればと考えています。

学生発表：学生会員（応募時に鍼灸又は医学の教育機関に学籍を有する者）

（公社）全日本鍼灸学会では、卒前教育支援の一環として、鍼灸師養成施設の学生の学術への意欲を喚起すると共に生涯学習の必要性・重要性を知っていただくために、学生発表を企画しました。卒業研究を是非学会の場で発表して下さい。なお、発表に際しては指導教員並びに所属している学校の許可を得てください。**（大学院・教員養成課程の学生は除きます）**

演題の発表形式（口演・ポスター）は、学会一任とさせていただきます。また、応募は、「学会一任（口演・ポスター）」、「英語発表」、「学生発表」の３区分となります。

1-1. 一般演題応募資格

1）筆頭演者は、**（公社）全日本鍼灸学会　正会員**　に限ります（筆頭演者としての応募は1人1演題に限定させていただきます。ただし、英語発表で応募する場合に限り、口演発表またはポスター発表で1演題、さらに英語発表で1演題、合計で1人2演題までの発表が可能です。

2）共同発表者は、**正会員、学生会員あるいは第76回学術大会会員であることが必須です。**

3）**筆頭演者ならびに共同発表者とも正会員は令和8年度正会員年会費納入済みの会員**であり、**年会費を納入していない会員は演題応募ができません。**正会員未登録の方は（公社）全日本鍼灸学会事務局までお問い合わせ下さい。なお、演題登録時に会員申請中の場合は会員番号を「0000000」、登録後に申請する場合は「9999999」と記入してください。

4）**学生会員は一般演題への応募はできません。**ただし、はり師、きゅう師の免許を有している学生会員で、正会員に登録変更した場合のみ演題を応募することができます。

5）**第76回学術大会会員について**

非会員で共同発表者として名を連ねる場合、研究の指導的立場の者に限って学術部長の承認を経て「第76回学術大会会員」として認められる場合があります。

第76回学術大会会員の詳細及び申請方法については、（公社）全日本鍼灸学会ホームページ内の「オンライン演題登録システム」の第76回学術大会会員をご参照ください。

演題応募時までに上記の資格要件をすべて満たしておいて下さい。資格要件を満たしていない演題は受け付けられませんので十分ご留意下さい。また、演題応募後に資格要件を満たしていないことが判明した場合、演題受付を取り消す場合があります。

1-2. 学生発表応募資格

1）筆頭演者は、**（公社）全日本鍼灸学会　学生会員**（学生会員資格：令和8年度に鍼灸又は医学の教育機関に学籍を有する者）に限ります。**（大学院、教員養成課程の学生は除きます）**なお、演題登録時に会員申請中の場合は会員番号を「0000000」、登録後に申請する場合は「9999999」と記入してください。
2）指導者（正会員）が、共同演者として連名にあることが必須です。また、演題登録する際に、連絡先は発表学生ではなく指導者の情報を入力してください。
3）共同発表者は、正会員、学生会員あるいは第76回学術大会会員であることが必須です。
4）第76回学術大会会員については、一般演題応募資格を参照して下さい。

1-3. 演題応募に際しての倫理面・利益相反・二重発表に関する注意

演題内容は倫理面について十分配慮されたものであり、また利益相反の有無についての申告が義務となります。演題登録時に倫理ならびに利益相反に関する本学会の規定を必ず確認してください。

また、他の学会で既に同一内容を発表されている場合は二重発表となるため、採択ができないことがあります。ご注意ください。なお、（公社）全日本鍼灸学会の支部学術集会において一般演題として発表した研究を発表することは可能ですが、二重発表であることを抄録本文中に明記してください。（例：本研究は、〇年度（公社）全日本鍼灸学会〇〇支部学術集会で発表したものの二重発表である。）

2. 応募期間

令和8年11月１日（日）より令和8年12月29日（火）まで

演題応募は令和8年12月29日（火）にて締め切ります。締め切り日直前は回線が混雑しますので、時間的余裕をもってご応募下さい。また、事務処理の都合上、**締切日以降の演題登録ならびに許可や指示がないなかでの修正は受け付けません**のでご了承下さい。なお、時期によりご要望に応えられない可能性もありますが、修正が必要となった際は必ず学術部（gakujutu@jsam.jp）までご一報下さい。

今回は抄録集作成の都合上、募集期間の延長は行いません。

3. 応募方法

『オンライン演題登録システム』を利用

「学術大会ホームページ」の「演題登録」から応募して下さい。「演題登録」以外の応募は受け付けません。

【投稿受理通知】

演題応募が完了し、UMINで投稿が受理されると、内容確認のメールが演題登録で入力したアドレス宛に送信されます。査読結果や採択通知等も全て同じアドレス宛に送りますので、間違いがないように確認をしてください。なお、システムより自動送信となります。**Gmailで登録された場合にサーバーの都合で通知が届かない事例が報告されています。**ご注意下さい。

4. 演題応募に際して

応募いただく演題の内容につきましては、鍼灸医学に関する研究内容といたします。

5. 発表形式

正会員対象の一般演題は、学会一任（口演・ポスター）、英語発表です。発表形式は、学会に一任していただきます。

学生会員対象の発表は、学生発表のみです。演題登録の際は「学生発表」をお選びください。

なお、発表時間などに関する詳細は、抄録の採択後にプログラムを決定し、メールやホームページ等で登録者にお伝えいたします。

6. 発表区分

演題登録フォームから希望する発表区分を1つ選んで下さい。

基礎（動物） 基礎（ヒト）	1 体性神経 2 自律神経 3 中枢神経 4 消化・吸収 5 循環（末梢循環、リンパ系を含む） 6 代謝・内分泌 7 筋・骨格（トリガーポイントを含む） 8 泌尿生殖器（腎臓、膀胱、子宮、卵巣など） 9 感覚器 10 鎮痛 11 生体防御（免疫、炎症など） 12 その他
臨床	13 末梢神経系 1（体性神経系） 14 末梢神経系 2（自律神経系） 15 中枢神経系 16 精神神経系（心の病を含む） 17 内臓器系 1（消化器系、呼吸器系） 18 内臓器系 2（循環器系、末梢循環を含む） 19 内臓器系 3（代謝・内分泌系） 20 内臓器系 4（泌尿器系） 21 内臓器系 5（産婦人科系） 22 運動器系 1（頚部、上肢領域） 23 運動器系 2（体幹、腰部下肢領域） 24 運動器系 3（関節） 25 運動器系 4（筋、トリガーポイントなどを含む） 26 運動器系 5（スポーツ） 27 感覚器系（皮膚科、耳鼻科、眼科領域を含む） 28 アレルギー・膠原病（アトピー性皮膚炎、RA を含む） 29 老年疾患（認知症、介護を含む） 30 鎮痛、疼痛管理（ペインクリニック、癌性疼痛を含む） 31 生体防御（免疫、炎症など） 32 治療環境（感染、感染予防、過誤、副作用など） 33 その他
調査	34 診察方法・手技 35 患者動態、意識調査 36 環境衛生（感染、感染予防、過誤、副作用など） 37 医療情報（ネットワーク、データベース、電子カルテなど） 38 医療経済 39 その他
東洋医学概論・古典	40 東洋医学史（医学史を含む） 41 古典文献 42 理論（臓腑経絡、病因など） 43 診察、治療（四診、弁証、配穴、手技など） 44 経絡経穴（取穴法、骨度法、経絡現象など） 45 その他
教育	46 教育技法 47 授業評価 48 臨床・実技評価 49 マルチメディア 50 その他
その他	51 その他（上記のいずれにもあてはまらないもの）

7. 抄録原稿作成上の注意事項

1）文字はJIS第1、第2水準で規定されている文字を使用して下さい（経穴名等で特殊文字を使用しなければならない場合は所定の入力方式に従って下さい）。

2）**抄録は【目的】、【方法】、【結果】、【考察】、【結語】に分けて記載し、これ以外の語句の使用は避けて下さい。**なお、症例報告では【方法】の変わりに【症例】、【現病歴】、【所見】に、【結果】の変わりに【治療・経過】などに変えて作成することも可能です。文字数については、750字～800字以内に収めて下さい。

3）**キーワード（5語以内）を記載して下さい。**キーワードは演題内容を正確に代表するもので、原則として演題名・要旨に含まれる語句から選んで下さい。また、なるべく短い用語を使用し、類似した用語の並列は避けて下さい。

4）**本文中での句読点は全角の「、」「。」をご使用下さい。**その他の英数文字は半角英数文字を利用して下さい。

5）**発表演者は、筆頭演者の所で登録してください。**

6）**筆頭演者の所属機関は、「○○大学、○○教室」まで正確に記載して下さい。**

7）**勤務先を連絡先にされる場合は、住所の中に必ず所属機関などを記載して下さい。**

（公社）全日本鍼灸学会、学術部では、学会ホームページ（https://jsam.jp/convention/congress/presenter/）に抄録作成・ポスター作成・スライド作成のポイントを公開しています。よろしければご参考ください。

＊抄録審査のポイントと採択基準

（公社）全日本鍼灸学会では、学術大会の一般演題としてふさわしく、質の高い、わかりやすい抄録集を作成するために、抄録審査を行っています。以下の点を基準に審査を行なっており、この基準に満たさない場合は修正もしくは不採択となります。

そのため、抄録作成に際しては必ず以下の点に注意して作成し、次ページにある「抄録投稿における自己チェックリスト」（審査に用いるチェック用紙を一部改変）を用いて、基準を満たせているかを確認してから、抄録の投稿をして下さい。

○抄録審査のポイント

1. 発表は原則として鍼灸分野に関するものとする。ただし、鍼灸分野と直接的に関係ない場合は、その関わり合いが抄録内で明確にされていればよい。

2. 構造化抄録（【目的】、【方法】、【結果】、【考察】、【結語】の形式）で記載されている。ただし、症例報告の【方法】は、【症例】、【現病歴】、【所見】等、【結果】は【治療・経過】等に変更することが出来る。なお、【考察・結語】とまとめて記載してもよい。

3. 目的は、発表内容（研究結果）で明らかにされる目的が記載されている。（発表内容で明らかにされない目的は記載しない）

4. 方法は、対象や人数（症例数、匹数）、研究方法、評価方法、解析方法が記載されている。症例報告では、病歴や所見、病態、治療方法が明確に記載されている。

5. 結果は、数値や有意差検定の結果等で具体的にわかりやすく記載されている。（結果には、自分の考え（考察）は記載しない）

6. 考察は、結果に対する自分の考えが論理的に記載されている。（結果以上に推論を重ねた考察は記載しない）

7. 結語は、発表のポイントとなる事項について端的に記載されている。

8. キーワードは、発表のポイントとなる用語が記載されている。

9. 倫理的に配慮されている。必要であれば倫理委員会の承認番号を記載する。（特に人を対象とした研究はヘルシンキ宣言等の倫理的基準を満たしている必要がある）。また、動物を用いた研究は、各施設の動物実験委員会等の承認を得ている必要がある。

10. 字数（750字以上800字以内である）が守られている。

11. 共同研究者を含めて演者の全てが鍼灸学会の会員である。

◯その他の注意事項

12. 度量衡の単位は、mm、cm、ml、dl、l、ng、μg、mg、g、kgなどの国際単位系を用いる。

13. 鍼の長さ・太さ・材質を記載する場合は、学会の規定に従って明記する。（(公社)全日本鍼灸学会. 医療用鍼の品質規格-毫鍼の鍼体径と鍼体長-. 全日鍼灸会誌. 1986; 36(4): 305-7)例）銀鍼の寸3の2番、40ミリ・20号鍼、銀鍼

14. 経穴名は、『WHO/WPRO標準経穴部位－日本語公式版－』ならびに『WHO STANDARD ACUPUNCTURE POINT LOCATIONS IN THE WESTERN PACIFIC REGION』、ローマ字の表記は、『STANDARD ACUPUNCTURE NOMENCLATURE Second Edition』ならびに『標準経穴学』の表記方法を基準とする。例:足三里（ST36）

15. 研究カテゴリーは、【活動報告】【アンケート調査】【症例報告】【後ろ向き研究】【前向き研究】【介入研究】【教育研究】【形態学的調査研究】【動物実験】【文献研究】【シミュレーション研究】となり、「全日本鍼灸学会学術大会への演題応募における倫理指針および登録カテゴリー選択のフローチャート」 https://jsam.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/全日鍼ー演題登録-final.pdfを参考に選択されている。

16. 個人を特定できるものは全てマスク化されている。（初診日や経過の年月日、年齢、既往歴、職業、個人歴）

記載例

初診日：主訴発生日が2025年1月、初診日（X）が2026年4月の場合：X-1年3ヶ月◯
X-1年1月　×

（季節性の因子が関与する場合は X-1年 1月と表記）

年　齢：57才男性→50代男性、13才女性→10代女性

＊　なお、誤字脱字に関しては自己責任となるために必ずダブルチェック（2人以上で確認すること）を心がけて下さい。また、学会ホームページ（http://www.jsam.jp/pdflib/syouroku.pdf）に「抄録作成のポイント」を掲載していますので、ご活用下さい。

◯抄録投稿における自己チェックリスト

＊抄録を応募する前に、必ず以下の項目をチェックしてから応募して下さい。

✓	項　目
	鍼灸分野に関する研究である（鍼灸分野の直接的な研究でない場合は、鍼灸分野との関わり合いを明確に記載されている）。
	発表形式に即した構造化抄録である。 ・一般発表：【目的】、【方法】、【結果】、【考察】、【結語】 ・症例報告：【目的】、【症例】、【現病歴】、【所見】、【治療・経過】、【考察】、【結語】
	発表内容（結果）に即した目的である。
	症例数や対象人数（匹）が記載されている。
	・一般発表：【方法】に、研究方法、評価方法、解析方法が記載されている。 ・症例報告：【方法】に、病歴、所見、病態、治療方法が明確に記載されている。 　結果が数値等で示せるものはなるべく具体的に示す（具体的な数値を示せない場合は統計結果でも構わない）。結果に自分の意見や考えを記載していない。
	結果を飛躍せず論理的に考察し、それを文章化できている。
	発表のポイントとなる抄録文章内のキーワードを抜粋できている。
	字数制限が守られている（750字以上800字以内である）。
	句読点は全角の「、」「。」、その他の英数字は半角英数文字を使用した。
	誤字脱字を確認した。
	共同研究者が全て学会の会員である。
	研究内容に倫理的な問題がない。

◯文責：（公社）全日本鍼灸学会学術部

◯問い合わせ先：gakujutu@jsam.jp

8. 注意事項

演題の**登録番号**と**パスワード**は必ず控えておいて下さい。

9. 演題登録に関する問い合わせ先

演題登録に関するお問い合わせは学術部までメールにてご相談下さい。

Email: gakujutu@jsam.jp　担当：学術部　谷口 博志（東京有明医療大学）、皆川 陽一（帝京平成大学）、小田木 悟（東京有明医療大学）

10. 演題採否

演題の採否および発表形式は大会会頭が決定し、令和9年2月下旬から3月中旬頃までにメール及びホームページで公表します（演題登録時のメールアドレスは、3月以降も使用するものをお願いします）。

なお、システムより自動送信となります。**Gmail で登録された場合にサーバーの都合で通知が届かない事例が報告されています。**

11. 著作権について

抄録の著作権は、学会誌投稿規定の投稿論文に準じて学会に委譲していただきますので、ご了承下さい。

鍼灸で使われるJIS規定外の漢字と対応タグ一覧

全日本鍼灸学会監修

入力方法	例えば、「オ血」の「オ」は「￥o￥」と入力します。 画面上はそのままですが、抄録集には正しく印刷されます。
入力例	￥o￥血

文字	読み	抄録本文に入力するタグ	用例（経穴・その他）	実際の入力例
痾	ア	￥a￥	ア門	￥a￥門
噫	イ	￥i￥	イキ	￥I￥￥ki￥
彧	イク	￥iku￥	イク中	￥iku￥
瘖	イン	￥in￥	イン門	￥in￥門
瘀	オ	￥o￥	オ血、血オ	￥o￥血、血￥o￥
朏	オウ	￥ou￥	ボツオウ	￥botu￥￥ou￥
脘	カン	￥kan￥	上カン、中カン、下カン、胃カン	上￥kan￥、中￥kan￥、下￥kan￥、胃￥kan￥
譆	キ	￥ki￥	イキ	￥i￥￥ki￥
璣	キ	￥ki2￥	センキ	￥sen￥￥ki2￥
蹻	キョウ	￥kyou￥	陰キョウ脈、陽キョウ脈	陰￥kyou￥脈、陽￥kyou￥脈
髃	グウ	￥guu￥	肩グウ	肩￥guu￥
瘈	ケイ	￥kei￥	ケイ脉	￥kei￥脉
郄	ゲキ	￥geki￥	陰ゲキ、ゲキ門、浮ゲキ	陰￥geki￥、￥geki￥門、浮￥geki￥
皷	サ	￥sa￥	酒サ	酒￥sa￥
莝	ザ	￥za￥	ザ	￥za￥

鑞	ザン	￥zan￥	ザン鍼	￥zan￥鍼
灶	シュ	￥syu￥	芠シュ	芠￥syu￥
顳	ジュ	￥ju￥	顳ジュ	顳￥ju￥
凶	シン	￥sin￥	シン会	￥sin￥会
癨	セツ	￥setu￥	セツ	￥setu￥
璇	セン	￥sen￥	センキ	￥sen￥￥ki2￥
腠	ソウ	￥sou￥	ソウ理	￥sou￥理
瘙	ソウ	￥sou2￥	疥ソウ	疥￥sou2￥
膻	ダン	￥dan￥	ダン中	￥dan￥中
鍗	テイ	￥tei￥	テイ鍼	￥tei￥鍼
鈹	ヒ	￥hi￥	ヒ鍼	￥hi￥鍼
臏	ヒン	￥pin￥	膝ピン	膝￥pin￥
脖	ボツ	￥botu￥	ボツオウ	￥botu￥￥ou￥
腧	ユ	￥yu￥	ユ穴	￥yu￥穴
牖	ユウ	￥you￥	天ユウ	天￥you￥
髎	リョウ	￥ryou￥	肘リョウ、禾リョウ、巨リョウ、觀リョウ、肩リョウ、天リョウ、和リョウ、瞳子リョウ、居リョウ、上リョウ、次リョウ、中リョウ、下リョウ、素リョウ	肘￥ryou￥、禾￥ryou￥、巨￥ryou￥、觀 ￥ryou￥、肩 ￥ryou￥、天￥ryou￥、和￥ryou￥、瞳子￥ryou￥、居 ￥ryou￥、上 ￥ryou￥、次￥ryou￥、中￥ryou￥、下￥ryou￥、素￥ryou￥
灤	レキ	￥reki￥	消レキ	消￥reki￥

Call for Abstracts: The 76th Annual Academic Conference of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion (Public Interest Incorporated Association)

General Presentations (Oral, Poster, and English Presentations): Open to Full Members only.

This academic conference features three types of general presentations:

- **Oral Presentation** : Oral presentation using a computer.
- **Poster Presentation** : Oral presentation accompanied by a displayed poster.
- **English Presentation** : We have organized a presentation session conducted in English, the common language of the scientific community. We hope this will serve as a forum for discussion among many experts and ultimately contribute to establishing a form of Japanese acupuncture and moxibustion science that is recognized globally.

JSAM reserves the right to determine the presentation format (oral or poster). Applications fall into two categories: "JSAM's Discretion (Oral or Poster)" and "English Presentation".

1-1. Eligibilities of General Presentations (oral or poster)

1) The First presenter must be a full member of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion (JSAM). Each individual is limited to submitting one abstract as the first presenter ; however, those applying for an English-language presentation may submit up to two abstracts in total : one for an oral or poster presentation and one for an English-language presentation.
2) Co-presenters must be regular members, student members, or members of the 76th JSAM Annual Academic Conference.
3) **Both the first presenter and co-presenters must be full members who have paid their annual membership fees for the 2026 fiscal year ; members who have not paid the annual fee are ineligible to submit abstracts.** Individuals who are not yet registered as full members should contact the Secretariat of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion(JSAM).
   If you have a membership application pending at the time of abstract submission, please enter "0000000" for the membership number ; if you intend to apply for membership after abstract submission, please enter "9999999".
4) **Student members are not eligible to submit abstracts for general presentations.** However, student members who hold licenses as acupuncturist and/or moxibustionist may submit abstracts only if they change their membership status to full member.
5) Regarding members of the 76th JSAM Annual Academic Conference
   In cases where a non-member is listed as a co-presenter, they may be recognized as a "76th JSAM Annual Academic Conference Member"—subject to the approval of the Director of Academic Department—provided they hold a supervisory role in the research.
   For details regarding the 76th JSAM Annual Academic Conference and application procedures, please refer to the "Online Abstract Submission System" section for the 76th JSAM Annual Academic Conference on JSAM website.

Please ensure that you meet all the forementioned eligibilities requirement by the time you submit your abstract. Please note that abstracts failing to meet these requirements will not be accepted. Additionally, if it is discovered after submission that the requirements are not met, the acceptance of the abstract may be revoked.

1-2. Important notes regarding ethics, conflicts of interest, and duplicate presentations when submitting the abstract

The content of the presentation must give due consideration to ethical aspects, and a declaration regarding the